



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月10日

上場会社名 株式会社丸山製作所 上場取引所 東
コード番号 6316 URL <https://www.maruyama.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内山 剛治
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 高取 亮 (TEL) 03-3252-2271
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績(2025年10月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	32,843	10.7	1,760	116.7	1,818	97.1	1,072	86.7
2025年9月期第3四半期	29,674	2.0	812	△25.9	922	△14.9	574	△15.7

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 2,457百万円(229.8%) 2025年9月期第3四半期 745百万円(△38.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	273.62	—
2025年9月期第3四半期	141.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	45,568	22,769	49.4
2025年9月期	39,101	20,794	52.7

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 22,502百万円 2025年9月期 20,596百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	—	—	80.00	80.00
2026年9月期	—	—	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2025年9月期期末配当金の内訳 普通配当 75円00銭 記念配当(創業130周年記念) 5円00銭

配当予想につきましては、2026年8月10日公表の「2026年9月期 通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	4.2	1,800	66.6	1,750	49.1	1,100	48.0	280.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想につきましては、2026年8月10日公表の「2026年9月期 通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1社(社名) MARUYAMA COLOMBIA S.A.S. 、除外 1社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年9月期3Q	5,029,332株	2025年9月期	5,029,332株
2026年9月期3Q	1,162,480株	2025年9月期	1,075,185株
2026年9月期3Q	3,919,829株	2025年9月期3Q	4,053,884株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当第3四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当第3四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当第3四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が持ち直し、設備投資も堅調に推移するなど、景気は緩やかな回復基調を維持しました。一方で、中東情勢の緊迫化に伴う資源・エネルギー価格の変動リスクに加え、米国の通商政策を巡る不確実性や金融資本市場の変動など、景気の下振れ要因も顕在化しており、先行き不透明な状況が継続しています。

当社グループが主力とする農林業用機械業界においては、中間連結会計期間に引き続き、国内・輸出向けともに出荷・生産実績が前年同期比で増加しました。

このような状況の中、当社グループは、国内では米卸売価格の高騰を背景に農業用機械全般への需要拡大が継続する中、大型防除機や稲作関連機械を中心に拡販施策を推進し、販売の強化に努めました。また、新型バッテリー刈払機の発売に合わせ、オンライン・オフラインの双方で積極的な販売活動を展開し、製品の市場浸透を図りました。ウルトラファインバブル製品については、温水洗浄機の公共施設やバス会社への導入のほか、テックシャワーやウルトラポンプについても農業分野を中心に販路拡大に取り組みしました。産業用機械分野においては、「国際 建設・測量展」をはじめ、全国各地で開催された展示会への積極的な出展を通じた営業活動の強化により、ポンプユニットの受注拡大ならびに建設機械市場への洗浄機の導入が順調に進捗しました。さらに、近年当社が注力しているアフターサービス事業においても、取引先やサービス協力店との連携を一層強化し、大型防除機やドローンの定期点検・整備体制を拡充しました。加えて、各県で開催される大規模展示会において、製品安全に関する啓発活動により、お客様がより安心して当社製品をご利用いただけるよう、安全・安心に関する取り組みを継続して推進しました。

海外では当社グループの強みである大型防除機などの農林業用機械の販売において、台湾・韓国向けに投入した新機種の展示会への出展や実演を展開した他、米国市場においては、販売店拠点数を増やし、より広範囲での市場調査と認知活動を実施しました。主力製品である刈払機については、引き続きタイ国市場での新製品の販売が好調な中、SNSでの宣伝を開始しました。南米コロンビアの現地法人は、好調な製品販売に加えアフターサービスの施策にも着手しました。

これらの結果、国内におきましては、アグリ流通において大型防除機及び動力噴霧機が、ホームセンター流通においては稲作関連機械がそれぞれ増加した結果、国内売上高は24,785百万円(前年同期比7.4%増)となりました。また、海外におきましては、欧州向けのOPE (Outdoor Power Equipment) 製品は減少しましたが、北米向けの工業用ポンプが増加したことなどにより、海外売上高は8,058百万円(前年同期比22.0%増)となり、当第3四半期連結累計期間の売上高合計は32,843百万円(前年同期比10.7%増)となりました。

利益面では、原材料高騰や販売費及び一般管理費の増加はありましたが、売上高の増加により、営業利益は1,760百万円(前年同期比116.7%増)、経常利益は1,818百万円(前年同期比97.1%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は1,072百万円(前年同期比86.7%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① 農林業用機械

国内におきましては、アグリ流通において大型防除機及び動力噴霧機、ホームセンター流通において稲作関連機械が増加しました。また、海外におきましては、欧州向けのOPE (Outdoor Power Equipment) 製品が減少したことなどにより、国内外の農林業用機械の売上高合計は24,547百万円(前年同期比6.3%増)、営業利益は2,233百万円(前年同期比117.9%増)となりました。

② 工業用機械

工業用ポンプにおきましては、欧州向けは減少しましたが、北米向けが増加したことなどにより、国内外の工業用機械の売上高合計は6,212百万円(前年同期比36.6%増)、営業利益は1,136百万円(前年同期比64.0%増)となりました。

③ その他の機械

消防機械を主なものとする、その他の機械の売上高は1,939百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益は174百万円(前年同期比23.2%増)となりました。

④ 不動産賃貸他

不動産賃貸他の売上高は243百万円(前年同期比23.6%減)、営業利益は99百万円(前年同期比52.3%減)となりま

した。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は45,568百万円となり、前連結会計年度末より6,466百万円増加いたしました。これは、商品及び製品の増加(2,494百万円)、原材料及び貯蔵品の増加(891百万円)及び時価の上昇による投資有価証券の増加(1,492百万円)などによるものであります。

負債総額は22,799百万円となり、前連結会計年度末より4,491百万円増加いたしました。これは、電子記録債務の減少(2,745百万円)はありましたが、支払手形及び買掛金の増加(1,008百万円)及び短期借入金の増加(4,649百万円)などによるものであります。

純資産総額は22,769百万円となり、前連結会計年度末より1,974百万円増加いたしました。これは、自己株式の増加に伴う減少(201百万円)はありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことによる利益剰余金の増加(745百万円)、時価の上昇によるその他有価証券評価差額金の増加(1,112百万円)などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年11月14日公表の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2026年8月10日)公表いたしました「2026年9月期 通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,877	4,002
受取手形、売掛金及び契約資産	5,087	5,918
電子記録債権	3,165	2,627
有価証券	51	51
商品及び製品	5,659	8,153
仕掛品	403	570
原材料及び貯蔵品	2,924	3,815
その他	1,538	1,439
貸倒引当金	△7	△1
流動資産合計	22,700	26,578
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,028	3,881
土地	2,782	2,892
その他（純額）	3,062	3,471
有形固定資産合計	9,872	10,246
無形固定資産	90	115
投資その他の資産		
投資有価証券	4,762	6,254
退職給付に係る資産	1,411	1,475
その他	286	912
貸倒引当金	△20	△14
投資その他の資産合計	6,438	8,628
固定資産合計	16,401	18,990
資産合計	39,101	45,568

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,248	3,257
電子記録債務	4,310	1,565
短期借入金	5,622	10,271
1年内償還予定の社債	10	10
未払法人税等	203	500
資産除去債務	—	2
賞与引当金	583	282
製品保証引当金	99	118
株主優待引当金	17	—
その他	1,975	2,153
流動負債合計	15,070	18,161
固定負債		
社債	10	—
長期借入金	1,485	2,308
退職給付に係る負債	10	19
資産除去債務	187	184
その他	1,543	2,125
固定負債合計	3,237	4,637
負債合計	18,307	22,799
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,651	4,651
資本剰余金	4,484	4,530
利益剰余金	9,668	10,414
自己株式	△1,988	△2,189
株主資本合計	16,815	17,405
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,332	3,445
繰延ヘッジ損益	—	1
為替換算調整勘定	388	679
退職給付に係る調整累計額	1,059	969
その他の包括利益累計額合計	3,781	5,096
非支配株主持分	197	267
純資産合計	20,794	22,769
負債純資産合計	39,101	45,568

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	29,674	32,843
売上原価	21,885	23,428
売上総利益	7,788	9,415
販売費及び一般管理費	6,976	7,655
営業利益	812	1,760
営業外収益		
受取利息	2	5
受取配当金	113	144
為替差益	76	43
その他	59	66
営業外収益合計	251	260
営業外費用		
支払利息	70	118
金融関係手数料	3	5
その他	67	77
営業外費用合計	141	201
経常利益	922	1,818
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
減損損失	—	29
固定資産処分損	1	23
契約解除損失	—	49
その他	—	0
特別損失合計	1	103
税金等調整前四半期純利益	921	1,717
法人税等	309	581
四半期純利益	611	1,135
非支配株主に帰属する四半期純利益	37	63
親会社株主に帰属する四半期純利益	574	1,072

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	611	1,135
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	150	1,112
繰延ヘッジ損益	—	1
為替換算調整勘定	35	298
退職給付に係る調整額	△52	△90
その他の包括利益合計	133	1,322
四半期包括利益	745	2,457
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	706	2,386
非支配株主に係る四半期包括利益	38	71

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	851百万円	848百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	農林業用 機械	工業用 機械	その他の 機械	不動産 賃貸他	計		
売上高							
一時点で移転される財又は サービス	23,083	4,547	1,900	12	29,543	—	29,543
一定期間にわたり 移転される財又はサービス	—	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる 収益	23,083	4,547	1,900	12	29,543	—	29,543
その他の収益	—	—	—	130	130	—	130
外部顧客への売上高	23,083	4,547	1,900	143	29,674	—	29,674
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	175	175	△175	—
計	23,083	4,547	1,900	318	29,849	△175	29,674
セグメント利益	1,024	692	141	208	2,067	△1,255	812

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	農林業用 機械	工業用 機械	その他の 機械	不動産 賃貸他	計		
売上高							
一時点で移転される財又は サービス	24,547	6,212	1,939	12	32,712	—	32,712
一定期間にわたり 移転される財又はサービス	—	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる 収益	24,547	6,212	1,939	12	32,712	—	32,712
その他の収益	—	—	—	130	130	—	130
外部顧客への売上高	24,547	6,212	1,939	143	32,843	—	32,843
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	100	100	△100	—
計	24,547	6,212	1,939	243	32,943	△100	32,843
セグメント利益	2,233	1,136	174	99	3,643	△1,883	1,760

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。